

# フランスにおける大学連携・統合の 現状と課題



## ボルドー大学

2014年、ボルドー第1・第2・第4大学が統合して  
設置された(同第3大学は不参加)。

- 1.大学間連携・統合の経緯
- 2.大学統合・連携の最近の  
動向
- 3.課題と日本への示唆

広島大学高等教育研究開発センター  
大場 淳  
oba@hiroshima-u.ac.jp

# 1. 大学間連携・統合の経緯

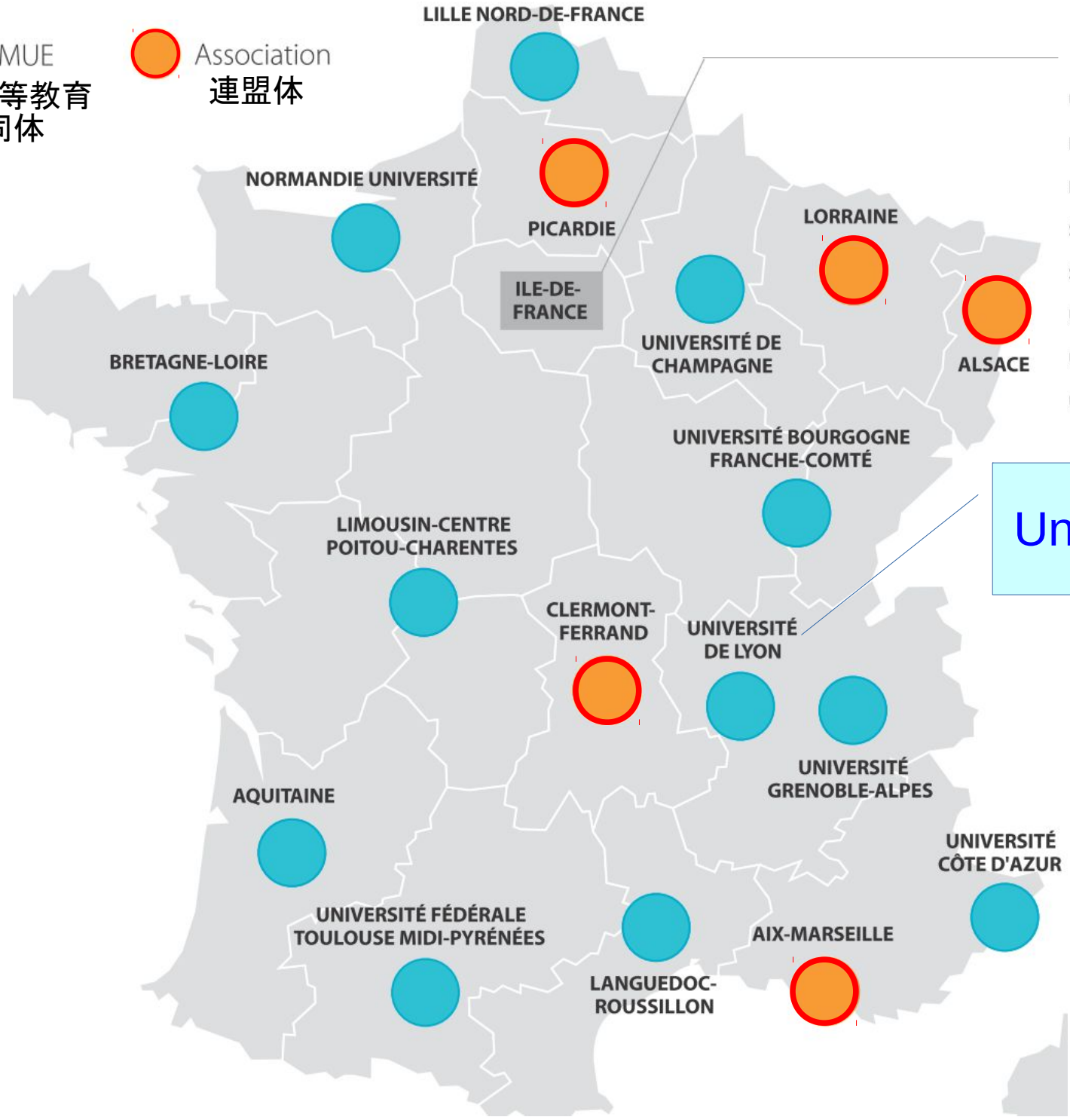
- 高等教育・研究法(2013年)以前
  - 研究・高等教育拠点(PRES)の設置
  - 一部大学の統合
    - 2009年、ストラスブール
    - 2012年、エクス=マルセイユ(エクサンプロバンス、マルセイユ)
    - 2012年、ロレーヌ(ナンシー、メス)
  - PRES等推進のための大規模競争的資金
    - キャンパス計画(OC)
    - 先導的卓越事業(IDEX)

- 2013年、高等教育・研究法制定
  - 連携の枠組み～集合体 (regroupement)
    - 連盟体 (association)
    - 大学・高等教育機関共同体 (communauté d'universités et établissements: COMUE)
    - 統合 (fusion)
  - 高等教育省の所管の全ての大学・その他の高等教育機関が、法制定後1年以内に上記のいずれかを選択して連携に参加
    - パリ及びその周辺では複数の設置が可能で、各機関はその中から選択する
  - 2015年9月までに25の集合体が設置
    - 20大学・高等教育機関共同体 (COMUE)
    - 5連盟体

● COMUE  
大学・高等教育  
機関共同体

● Association  
連盟体

- イル＝ド＝フランス
- UNIVERSITÉ PARIS SEINE .....
  - HESAM .....
  - PARIS SCIENCES ET LETTRES .....
  - SORBONNE PARIS CITÉ .....
  - SORBONNE UNIVERSITÉS .....
  - UNIVERSITÉ PARIS-EST .....
  - UNIVERSITÉ PARIS-LUMIÈRES .....
  - UNIVERSITÉ PARIS-SACLAY .....



Université de Lyon

Dossier de presse de la rentrée universitaire 2015

連盟とCOMUEの設置状況(2015年9月現在)

- 政府の考え方(高等教育国家戦略(StraNES))
  - 大学・高等教育機関間連携の目的
    - 大学と大学外の高等教育機関、大学と研究推進機関(CNRS等)、大学と学生支援組織(CROUS等)の分断を解消する
    - 大学等間の連携を推進し、資源の共有化を図るとともに、教育・研究活動についての調整を行う
    - 地方分権の文脈において、地方公共団体と大学等の連携を推進し、地域間の均衡に配慮しつつ、整合性のある高等教育・研究活動を推進する
    - 大学間の国際競走が熾烈化する中で、大学の国際的な認知度を向上する
      - COMUE = “université fédérale”(連合大学)
  - 競争的資金について
    - それぞれの強みと戦略に基づいて、全ての集合体が計画を申請し、基準に合致していれば配分するに十分な額が担保されていなければならない
    - 競争的資金と一般的資金の配分バランスは要検討

## 2. 大学間連携・統合の最近の動向

- 統合した大学
  - 2014年、ボルドー大学
    - ボルドー1、2、4が統合（人文系の第3大学は不参加）
  - 2015年、モンペリエ大学
    - モンペリエ1、2が統合（人文系の第3大学は不参加）
  - 2016年、グルノーブル・アルプ大学
    - グルノーブル1-3、INP、IEPが統合
- 統合を決定又は検討している（た）大学
  - レンヌ1、2 ※レンヌ2の反対で検討中断
  - クレールモン＝フェラン1、2
  - パリ8、10
  - パリ12、マルヌ＝ラ＝バレ
  - リル1、2、3

出典：EducPros.fr « Fusion, association, communauté : la nouvelle carte de France des université” 18/7/2014



モンペリエ大学とモンペリエ第3大学

ボルドー大学の設置は、地域においても、国際的にも大きく認知度を高めることに寄与した。(ボルドー大学長)



ボルドー大学とボルドー第3大学



- 先導的卓越事業 (IDEX) の活用
  - 2015/2016年度、第一期選定機関(群)の中間評価で、COMUEソルボンヌ・パリ・シテ (SPC、パリ第3/5/7/13大学ほか)が対象から除外される
    - 独自性が強い組織運営
    - 欠如するCOMUEのガバナンス
  - 2016年6月、COMUE-SPCは、2019年に統合する方針を表明



### 3. 課題と日本への示唆

- 現行制度と政策

- 多様な高等教育機関の存在、機能別分化は既に存在
- 進学・学習機会等を保障する大学は、当該保障に抵触しない範囲内での専門分化は可能
- 政府・地方公共団体の政策の下で、かかる社会正義の実現をCOMUE等が実行
- 政府は大学間連携を強く誘導、積極的に推進
  - COMUE等への参加は強制
  - 予算で強く誘導

# • 課題

- 矛盾する卓越性の追求と社会正義の担保
- 地方分権と高等教育の関係は未知
- 別れる機関の対応
  - COMUE等の集合体への参加は義務的であるが、不本意な参加が少なくない
  - 統合については、地域の全大学の賛同を得られない場合が続出(モンペリエ、ボルドー、レンヌ)
  - 紛糾する学内での議論

Écoles d'ingénieurs : l'ENI Metz intègre l'université de Lorraine à marche forcée

De notre correspondant dans l'Est, Philippe Bohlinger | Publié le 05.10.2015 à 15H56

大学統合が出来なかったブルターニュ・ロワールCOMUE(レンヌ1/2等)は、IDEXを獲得できなかった。

メス技師養成学校がロレーヌ大学に「強制的に」統合されることが決まったことを伝える記事  
(EducPros.fr, le 5 octobre 2015)



- サクレ(パリ郊外)では、大学とグランド・ゼコール間で主導権争い
  - Université Paris Sud  
VS
  - Grandes écoles
    - Polytechnique
    - École normale supérieure
    - ParisTech
    - HEC
    - ...



A Saclay, la guerre froide entre grandes écoles et universités s'intensifie (Le Monde du 28 septembre 2016)

- 統合等へについての大学教職員の見解
  - 統合には人文社会系を中心に抵抗感
    - 統合等の大学間連携へ肯定的見解 (bonne chose) を示す者の割合 : 3割
      - 人文社会系 (法・経済・経営を除く) : 18%
      - 保健系 : 47%
      - 事務職員 : 半数
    - ストレスの原因と看做す者の割合 : 8割
      - 芸術・文学・言語系 : 93%
      - 保健系 : 68%

- 難しい連携の評価 (Bennetot Pruvot, Estermann & Mason, 2015)
  - 高等教育国家戦略 (StraNES) は、連携の事後的な評価を予定
  - 大学ランキングへの影響は不明

**EducPros.fr**  
Au service des professionnels de l'enseignement supérieur  
by l'Étudiant

ACTUALITÉS ENQUÊTES ENTRETIENS

ON EN PARLE "Ma thèse en 180 secondes" : les docteurs

Accueil > Actualité > Classement 2015 du "Times Higher Education"

Actu | International

## Classement 2015 du "Times Higher Education" : les fusions d'universités paient

Delphine Dauvergne | Publié le 30.09.2015 à 21H10

<http://www.letudiant.fr/educpros/actualite/les-fusions-d-universites-les-aident-a-rentre-dans-le-classement-du-times-higher-education-2015.html>

【THE2015で、統合がフランスの大学の評価向上に効果があったとする記事】

400位以内の大学が前年の11から本年は15に増加し、新たな加わった大学にエクスマルセイユとボルドーが含まれている旨を伝える。

但し、統合されたモンペリエ大学は、400以内には入っているものの、統合前のモンペリエ2よりも順位は下がっている。また、ローヌは400位には入らない。

- 統合を進めるに際しての課題
  - 統合後の信頼関係の醸成等は長期に渡って構築が必要 (Baird, 2010)
  - 統合後の統治機構 (ガバナンス)
    - 集権的になる傾向
  - 大学間連携を妨げる様々な要因
    - 地理的な距離
    - 歴史的経緯 (Baron & Vadelorge 2015)
    - 不可欠な統合のための経費
      - 経費節減はすぐには見込めない
- 日本への示唆
  - これ以上の国立大学間の統合は効果が期待できない (2015研究員集会羽田報告) 中で、地域単位の連携は望ましいものか
  - 一法人複数国立大学の可能性
  - 地方分権と高等教育

## 参考文献

- Baird, H. (2010). Literature review for the higher education collaborations, alliances and mergers project. Bristol: HEFCE.
- Baron M. & Vadelorge L., Les universités parisiennes dans la tourmente des regroupements, Métropolitiques 25/2/2015, 2015. <http://www.metropolitiques.eu/Les-universites-parisiennes-dans.html>
- 大場淳(2016)「フランスにおける大学の連携・統合と機能別分化:大型競争的資金と地方分権の関わりに着目して」広島大学高等教育研究開発センター編『大学の機能別分化とその国際的動向 (戦略的研究プロジェクトシリーズ X)』広島大学高等教育研究開発センター, 159-171頁。
- 広島大学高等教育研究開発センター(2016)『大学の統合とガバナンス:地域分散・適正規模・機能分化の在り方を巡って』高等教育研究叢書133。